

2000年6月30日

いすゞ 『ギガ セミトラクタ 6X4 駆動車』 を改良

いすゞ自動車(株)は、『ギガ セミトラクタ』シリーズの6X4 駆動車に、平成11年排出ガス規制への適合、新型エンジンの追加などの改良を行い、6月30日より全国一斉に発売する。

今回の改良内容は、平成11年排出ガス規制(*1)、中期ブレーキ安全規制(*2)への適合を図るもので、セミトラクタとしては、6月19日より販売を開始した「ギガ セミトラクタ4X2 駆動車」に続くものである。さらに、国産のセミトラクタでは最大の出力441kw(600PS)を発揮する「10TD1」型エンジンに加え、このエンジンをベースに新開発された「8TD1」型エンジンを設定した。また、従来から商品展開している4バグエアサスペンション付トラクタを「ギガマックストラクタ」とネーミングし、高品質輸送を実現するトラクタとして積極的に拡販を図ってゆく。

(*1) 平成11年排出ガス規制は、平成6年排出ガス規制の規制値からさらに、NOxを25%、PMを64%、黒煙を37%削減する規制。

(*2) 中期ブレーキ安全規制は、高速からの制動、故障時の制動、駐車ブレーキによる制動、オートアジャスターの取付けなど、全体的なブレーキ性能の向上と動作の安定を義務づける規制。

主な特長は次の通り

1. 平成11年排出ガス規制適合エンジン

(1) 「電子制御コモンレール式高圧燃料噴射システム(*1)」や、「TICS(*2、*3)」の採用、逆止弁(ぎゃくしべん)を装備した「ワンウェイ・クールドEGR(*4)」の採用などにより、全エンジンを平成11年排出ガス規制に適合させた。

(*1) 6WG1-TCS、6WG1-TCCエンジンに採用

(*2) Timing and Injection rate Control System

(*3) 6WG1-TCS、6WG1-TCCエンジンを除く全エンジンに採用

(*4) インタークーラーターボ系エンジンに採用

(2) 国産セミトラクタで最大出力の441kw(600PS)を発生する「10TD1」型エンジンを引き続き設定するとともに、このエンジンをベースに新開発された、無過給「8TD1」型エンジンを設定し、高出力と低燃費の両立を図った。さらに、6WG1-TC型エンジンに新たな出力帯353kw(480PS)を追加設定した。これにより、3タイプ(過給系

1タイプ、無過給系 2タイプ) 8出力帯の豊富なエンジン ラインナップとなり、さまざまな用途にあわせたエンジン選択が可能となった。

2. 安全性の向上

(1)エア漏れ故障時に故障箇所へのエア供給を停止し、他のブレーキ系統で制御を行なうマルチプロテクションバルブの採用、ABSの標準装備などにより、中期ブレーキ安全規制に適合させた。

(2)衝突時のキャブ変形を軽減し生存空間の確保を図るため、衝突エネルギーをフレーム先端で吸収するフレーム構造の改良、キャブフロア構造やキャブマウント部などの改良を施した。

これにより、万一の衝突時にドライバーが受けるダメージの軽減を図った。

3. その他

(1)4バグエアサスペンションを搭載したトラクタを、新たに「ギガマックス トラクタ」と名称変更した。

(2)油圧計、電圧計、時計などを装備した「マルチメーター」をインパネ内に設置した。

(3)室温を自動調節するフルオートエアコンを標準装備とした。

(4)フロントグリルのデザインを変更し、洗練されたイメージの安定感あるものとした。

(5)低速時はハンドルが軽くなり、高速時は適度に重量感を持たせる電子制御式パワーステアリングをカスタム系に標準装備(*)した。(※その他の車型はオプション設定)

(6)セミトラクタでは国内最大級となる、第5輪荷重 23.5トン車を新規設定した。

《目標販売台数》 『ギガ トラクタ』 シリーズ 1, 200台/年

《ギガ 6 X 4 セミトラクタ 東京地区希望小売価格》 (消費税含まず)

車型	第5輪 荷重 (トン)	エンジン型式 最高出力	希望小売価格	備考
KL-EXZ75J3 (*)	20	10TD1 441kw (600PS)	17,935,000 円	エアコン トラニオンサスペンション
KL-EXY52J3	11.7	6 WG1-TCC 353kw (480PS)	15,609,000 円	エアコン 4 バッグエアサスペンション